

# 2019年度 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業方針

## 1、基本方針

2019 キーワード <変化への準備> <人材の育成>

近年、自立支援、退所後支援だけでなく、社会的養護を取り巻く環境が大きく変化しています。当団体も、変化に合わせて、支援対象や支援内容を検討していかなければなりません。目の前にいる子どもたちのためにできることを精一杯しつつ、全体を俯瞰して未来を見据えた準備もしていきたいと考えています。

また、引き続き取り組みたいことは、活動を支える人材の育成です。広がる事業を支えるのは、やはり人材です。スタッフ、ボランティアを問わず、ビジョンや組織文化を理解し、責任と権限を持った人材がどのプロジェクトにおいても活躍できるよう、人材の発掘、研修や実践機会の提供、権限移譲などを進めます。

## 2、トピックス

### ■進学した女性退所者向けシェアハウスの増設

安価で、安心して住むことができる住宅を提供する「スマイリングプロジェクト」では、従来の渋谷区初台に加え、神奈川県川崎市鷺沼にて新たに「SHIP 鷺沼」の運営を開始します。学費が大きな負担となり経済的な困難を抱えがちな進学者のため、家賃を 2 万 5 千円に設定しました。ある支援者のご厚意により、中古の一軒家をシェアハウス用にフルリフォームしていただいた上で、安価で賃借させていただく形で実現しました。インテリアは家具ブランドの unico(株式会社ミサワ)が社会貢献事業の一環でトータルプロデュースし、無償でご提供いただきました。

社会人 3 名、退所者 3 名まで受入れが可能で、4 月より現在社会人 1 名と、退所者 1 名での生活が始まっています。高校 3 年生向けに夏休み期間を利用した宿泊体験会も予定しており、2020 年度の入居に向けて案内を進めます。

### ■新しい啓発プログラム「コエール」

奨学金プログラム「カナエール」の経験から、当事者スピーチの可能性を確信し、啓発を目的として誕生しました。キャッチコピーは「親ありき日本をこえる」で、親を頼れない子どもたちの不公平を解消するた

め当事者(イルミネーター)のスピーチと支援活動家(アクティビスト)のプレゼンテーションを柱に、観客に行動(ソーシャルアクション)を促していくイベントを開催します。社会的養護の枠にとどまらず、広く子どもを取り巻く環境を改善するため、啓発を行います。

イベントは、7 月 21 日、代々木にある国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催予定です。

### ■人材開発チームの復活

2018 年度より事務局スタッフが効率的、効果的に業務を進め、活動の幅を広げるため、業務機能を軸にした組織再編成を行いました。人員不足のため「人材開発チーム」は他チームに業務移管していましたが、適正な人員配置が整い、2019 年度復活いたしました。B4S の3つのミッションの 1 つである「人材育成」を担う部門として、活動の担い手であるボランティアが長く無理なく継続できるようなサポート体制の充実、子どもたちへの支援の質を高めるための研修制度の推進をはかってまいります。また、B4S の活動をコアで担う人材の育成を見据えた「3 年目研修」の導入や、ボランティアマネジメントの礎となる丁寧なデータ分析、活用にも取り組みます。